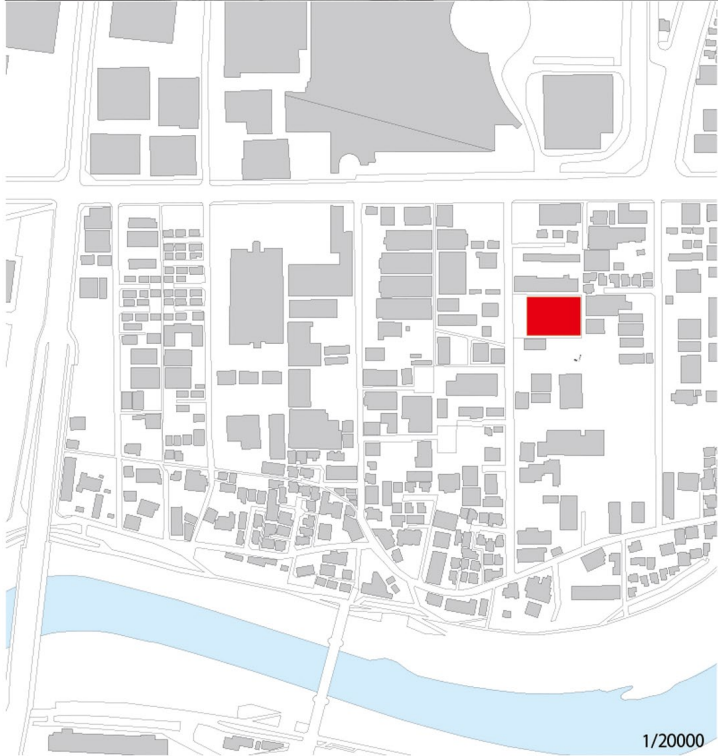


木のあつまるどころ

住む+つくる



趣味でつながる

インターネットの普及と発達によって、遠く離れた人同士が物理的な壁を乗り越えて瞬時に意思疎通できるようになった。近年では SNS の発展により、家族や友達を越えた人同士をあらゆるテーマで結びつけている。この流れはますます加速し、今後はより多様性にあふれ、かつ強固な結びつきを提供するだろう。そのひとつとして、趣味が挙げられる。

また、今後の社会問題のひとつとして人口減少が挙げられ、都市に集まって住むことも必要だと考えられている。ここで、同じ趣味を持った人が集まる集合住宅を提案する。

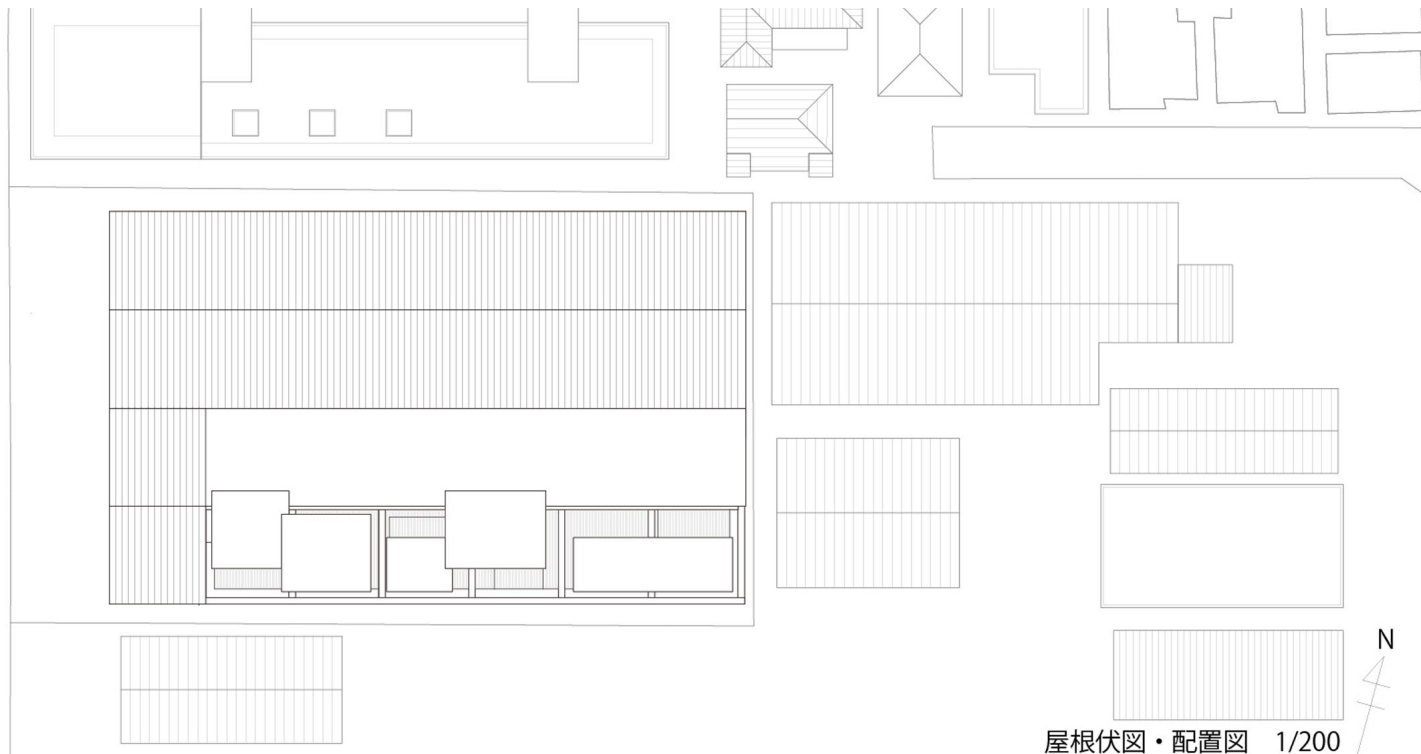
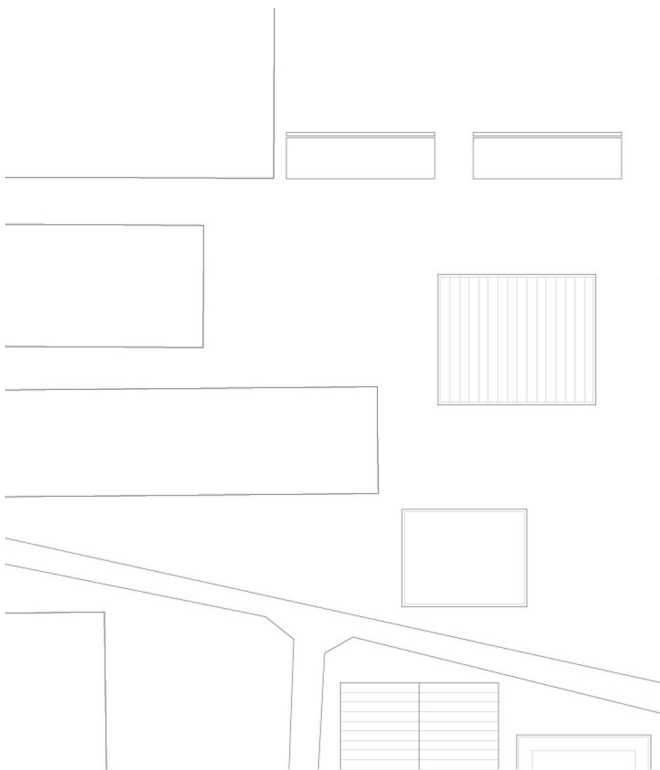
敷地は神奈川県横浜市都筑区にある木工所。一帯は工場と住宅が混在した地域で、工場のトタンと住居の壁面が独特な風景を作り出している。

現在、工場と住居が別々に存在しており、お互いに相手があたかも存在しないかのように振る舞っているように見える。

ここを通る多くの方は、最寄駅から 10 分ほど歩いた所にぽつんとある大型ショッピングモールへと足を運んでいる。

ばらばらに動いている 3 種類の人をつなげる役割を持つ集合住宅を提案する。





屋根伏図・配置図 1/200

つくること + 住むこと + 売ること

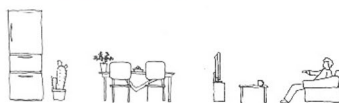
つくること

集合住宅の住民で共同で工作機械を持つことにより、個人ではなかなか持つことが難しい本格的な機械を使うことができる。工房は1階と2階にそれぞれ「大きな工房」と「小さな工房」があり、「大きな工房」では大きな木材の加工を、「小さな工房」では細かな加工ができる設備が整っている。



住むこと

入居者は木作業を趣味とした人や、副業・本業にする人まで、対象は幅広く設定している。住民の間にある「木工」という共通項をきっかけとして、情報や技術の交換がスムーズに行われることを期待する。



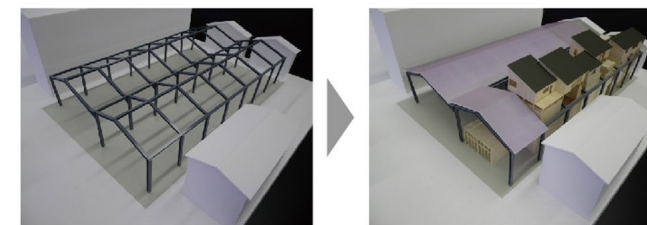
売ること

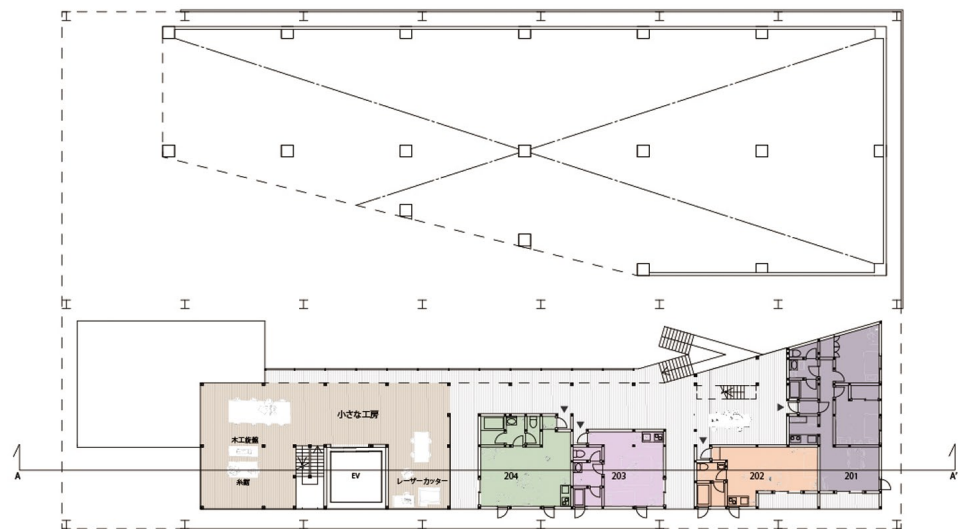
工房でつくった作品は、併設されているカフェ「木のアつまるところ」で展示・販売をおこなうことができる。また、ファクトリーマーケットやインターネットへの出品をすることができる。



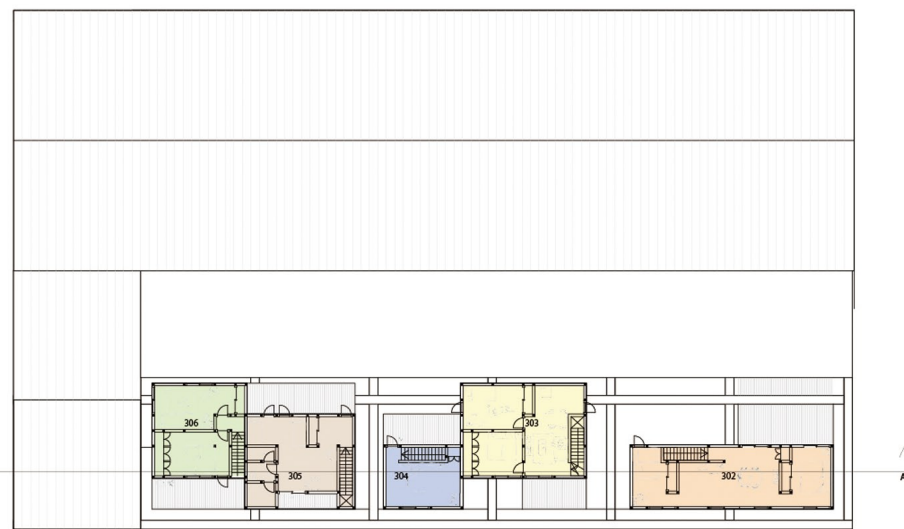
鉄骨のフレーム

周辺には工場や倉庫と住居が混在しており、独特の街並みを形成している。その街並みを壊さないため、木工所の既存のフレームを残した。外壁がスギ板で作られた住戸は、これを避けるようにして、地面から生えるように立っている。

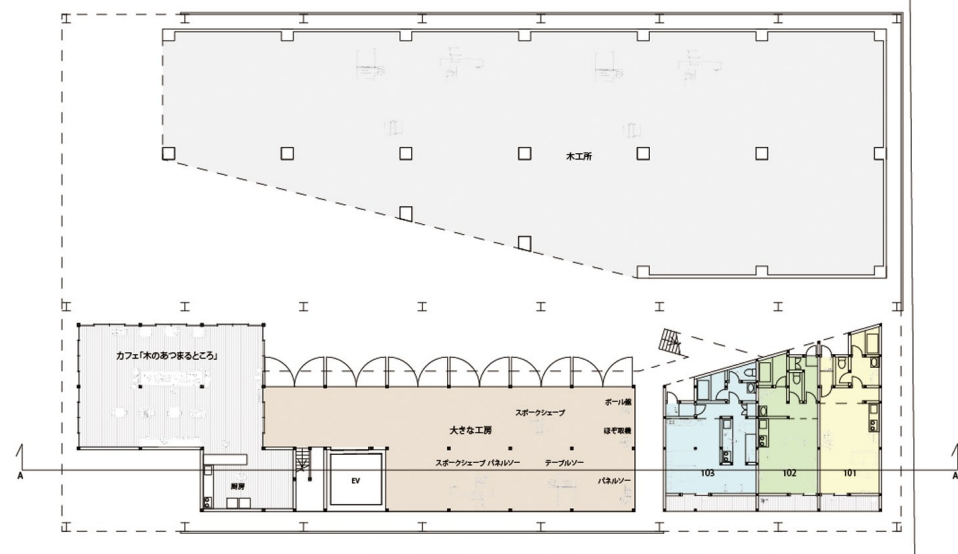




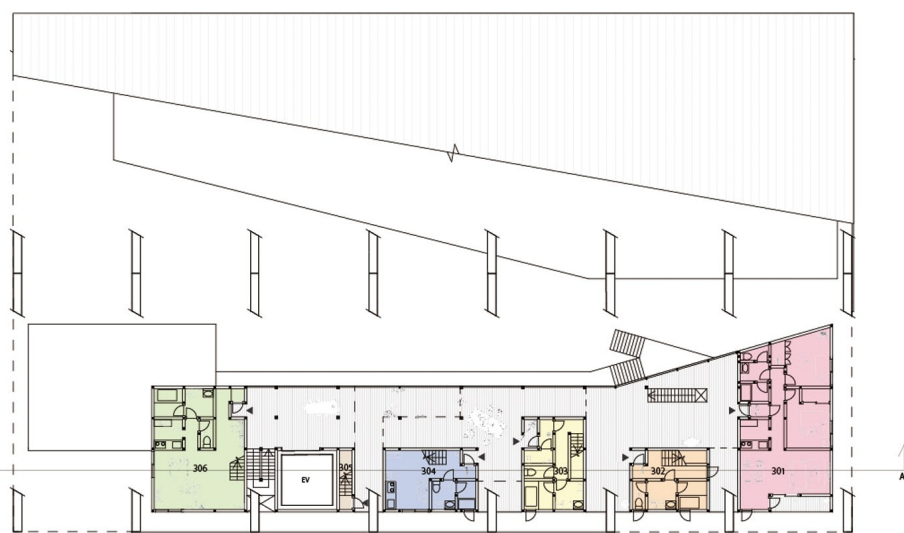
2階平面図 1/150



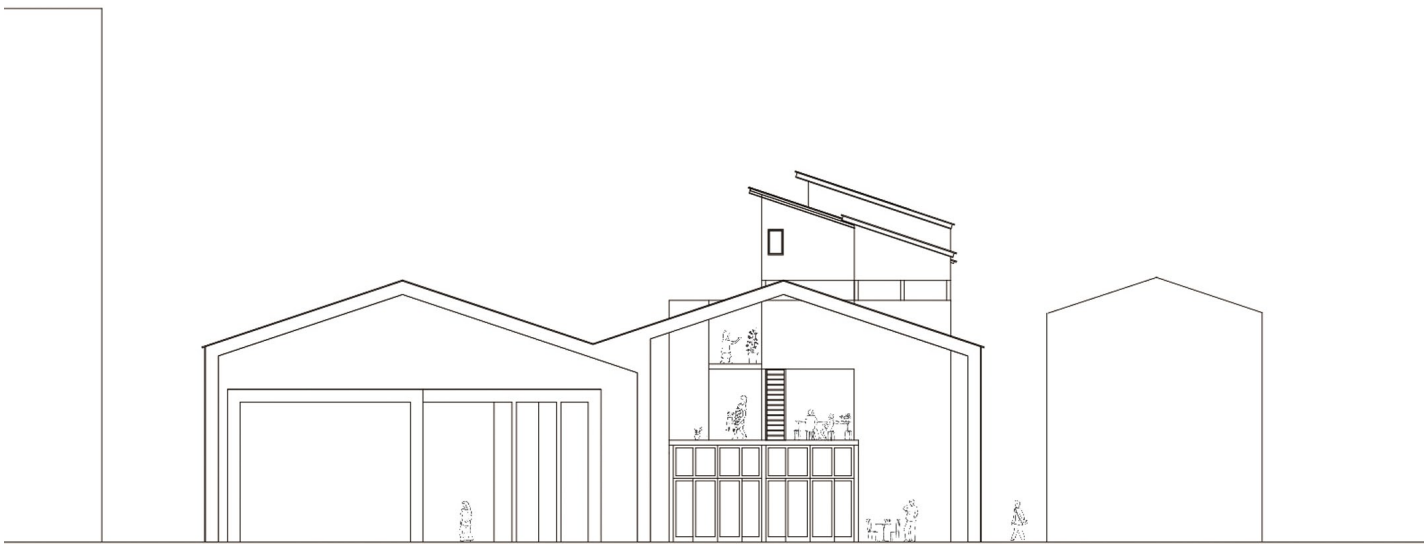
4階平面図 1/150



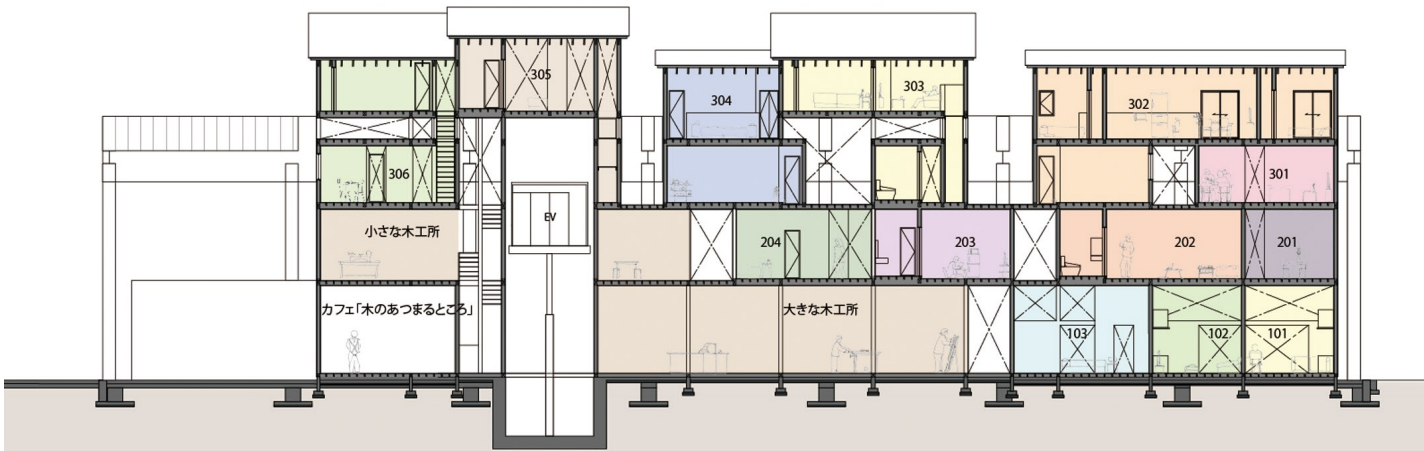
1階平面図 1/150



3階平面図 1/150



立面图 1/100



断面图 1/100

